



季節の言の葉 こよみプリント【五月】

なまえ

皐月 (五月)



二十四節気・七十二候

日本の季節を表す言葉です。(＊は七十二候の一部)

五月六日ごろ

立夏 (こよみの上で、夏が始まる日)

五月五日ごろ

＊蛙始鳴 (かえるが鳴き始める)

五月十五日ごろ

＊竹笋生 (たけのこが生えてくる)

五月二十一日ごろ

＊蚕起食桑 (かいこが起きて桑の葉を食べる)

五月二十一日ごろ

小満 (陽気が良くなり、草木が成長する)



日本の言の葉

目には青葉 山ほととぎす
初鰹

【意味】 目には初夏の青葉が映り、耳にはほととぎすの声がかきこえ、口では初物のかつおが味わえる夏。

山口素堂

あらたふと 青葉若葉の
日の光

松尾芭蕉

【意味】 ああ、なんと尊いことか。青葉や若葉に降り注ぐ日の光は。(日光東照宮を参拝したときの句)

- ・上の俳句を、声に出して読みましょう。
- ・五月の俳句(五・七・五)を作ってみましょう。

--	--	--	--